

抗 GPCR モノクローナル抗体の発売について

株式会社トランスジェニックは、GANP®マウス技術により開発した抗 GPCR モノクローナル抗体を研究用試薬として、2009年8月31日に発売いたします。

このたび発売する抗体製品の詳細は以下の通りです。

製品名	容量	価格(税込)	製品コード
Anti Human FFAR2 Monoclonal Antibody (Clone No. 16E4)	50 μ g	57,750円	KX448
Anti Human GPR44 Monoclonal Antibody (Clone No. 8F2)	50 μ g	57,750円	KX449
Anti Human GPR119 Monoclonal Antibody (Clone No. 3E8)	50 μ g	57,750円	KX450

- 販売方法 : 契約代理店（コスモ・バイオ（株）、フナコシ（株）、和光純薬工業（株））を通じて販売
- 開発の経緯 : 当社は、昨年度よりGANP®マウス技術を活用し、Gタンパク質共役型受容体（GPCR）をターゲットとした大規模抗体開発プロジェクトを開始しています。
これらは本プロジェクトの成果です。
- 製品情報 : 製品データシートをご参照ください。
各製品コードをクリックいただくと、製品データシートをご確認いただけます。

Gタンパク質共役型受容体（G Protein Coupled Receptor : GPCR）

細胞膜に存在し、細胞外から送られてきた様々な信号を細胞内の情報伝達系に伝える役割を果たす受容体には種々のタイプがあります。このうち、細胞内に存在するGタンパク質を介してこの役割を果たす受容体をGPCRと呼び、その数は1000種類に及びとされています。現在、これらを創薬ターゲットとして見据えた創薬研究や基礎研究が多く、製薬企業、大学等研究機関で進められています。なお、現在市販されている医薬品のうち、半数以上がGPCRに結合し作用するものです。

FFAR2 (GPR43)

末梢血リンパ球・脾臓に発現していることから、免疫や炎症反応に関与することが想定されています。GPR43 欠損マウスを用いた研究から、脂肪細胞におけるGPR43 活性が脂肪生成を阻害し、血液中の遊離脂肪酸を減少させることが示されています。

GPR44(CRTH2)

Th2 細胞、好酸球、好塩基球に高発現しており、PGD2 に対する走化性を仲介します。また、呼吸性バースト・好酸球の脱顆粒・Th2 細胞からの炎症誘発性サイトカイン産生を仲介し、好塩基球からのヒスタミン放出を促進します。PGD2-CRTH2 シグナルは慢性アレルギー性皮膚炎に重要な役割を果たしていることも想定されています。

GPR119

脾臓及び消化管に発現しており、リソホスファチジルコリン及びオレイルエタノールアミドをリガンドとするグルコース依存性インスリン分泌性受容体です。GPR119 特異的アンタゴニストは、生体内でグルコース依存性インスリン分泌を促進し、GPR119 欠損マウスではグルコース耐性が損なわれます。また GPR119 はインクレチンの分泌を刺激するほか、グルコース依存性インスリン分泌ペプチド及び GLP-1 を産生する消化器系領域に高発現しています。

以上